

令和3年度受験 宅建超短期合格コース 日程表(日曜日)

【必修項目習得講座 基本コンセプト】

- ・各科目の基礎学習をし本試験レベルの得点力の土台を構築する。
- ※予習では【テキストの読みみと予習テスト】を実施。
- ※講義終了後に【演習テスト】を実施し、当日の理解度を確認。
- ※復習では、【復習テスト】で得点力の強化も徹底。
- ※次回講義開始前に前回の学習範囲を対象に【達成度確認テスト】を実施し復習の徹底及び知識の定着度の強化をはかる。

◆必修項目習得講座(権利関係) 計14h

単位	日程	時間	講義内容
1	R2年11月上旬から順次視聴可	3時間30分	ガイダンス 権利関係入門 意思表示 債務不履行と売買
2		3時間30分	制限行為能力者 代理 相続
3		3時間30分	賃貸借 借地借家法
4		3時間30分	不動産物権変動 抵当権 区分所有法

※上記講座については令和2年11月より順次視聴も可。

◆必修項目習得講座(宅建業法) 計10.5h

単位	日程	時間	講義内容
1	R3年3月中旬から順次視聴可	3時間30分	宅建業者免許 宅地建物取引士
2		3時間30分	媒介契約書 重要事項説明書 37条書面
3		3時間30分	自ら売主規制 報酬

◆必修項目習得講座(法令上の制限) 計7h

単位	日程	時間	講義内容
1	R3年4月上旬から順次視聴可	3時間30分	都市計画法
2		3時間30分	建築基準法

※試験制度の変更などにより、試験スケジュール、講座日程および学習する内容カリキュラム、科目進行等について、変更を行う場合があります。

【要点整理 基本コンセプト】

- ・必修項目習得講座終了後、本講座開始までの期間で過去問学習を徹底。
- ・要点整理は、受験生が間違いやすい項目や可否を分ける項目を中心に実施
- ※予習では【テキストの読みみとプレテスト】を確認し、学習当初から問題対応を意識して学習に取り組む。
- ※講義中には【プレテスト】を実施。知識の習得と問題対応力を強化。
- ※講義終了後に【演習テスト】を実施し、当日の理解度・問題対応力を確認。
- ※復習では、【復習テスト及び問題集(過去問)】の実施の徹底で得点力の強化を図る。
- ※次回講義開始前に前回の学習範囲を対象に【達成度確認テスト】を実施し学習範囲の復習の徹底及び得点力の強化を図る。

【演習講座 基本コンセプト】

- ・科目別の問題演習及び模試の実施を通じて本試験に向けた実力仕上げを徹底する。
- ※予習は、【テキストの読みみと問題集(過去問)】の実施。
- ※復習は、本番と同様の形式の【パワーアップ模試】で本試験対応力を養う。
- ※前回の学習範囲を対象に【達成度確認テスト】も実施。
- ※総合答練や宅建士模試についても【達成度確認テスト】を実施。

【直前特別対策講座 基本コンセプト】

- ・出題可能性の高い全項目を網羅。
- ・頻出重要論点の確認に加えて法改正や最新動向についても学習。

■要点整理 計20h

単位	日程	時間	講義内容
1	8/1(日)	5時間	権利関係
2	8/8(日)	5時間	宅建業法1
3	8/15(日)	5時間	宅建業法2
4	8/22(日)	5時間	法令上の制限・税価格

■演習講座 計約27.5h

単位	日程	時間	講義内容
1	8/29(日)	6時間30分	権利関係
2	9/5(日)	6時間30分	宅建業法
3	9/12(日)	6時間30分	法令上の制限/税・その他
4	9/19(日)	約8時間	総合答練・宅建士模試

※上記講義内容の科目進行は教室により異なります。

■公開統一模擬試験 計7.5h

単位	日程	時間	講義内容
1	9/26(日)	約7時間30分	公開統一模擬試験①②

◆直前特別対策講座 計18h

単位	日程	時間	講義内容
1	10/3(日)	5時間	権利関係
2		5時間	宅建業法
3	10/10(日)	5時間	法令上の制限/税・価格
4		3時間	5問免除科目

※上記講義内容の科目進行は教室により異なります。

■令和3年度 宅地建物取引士資格試験 本試験

10/17(日)	13:00~15:00(予定)
----------	-----------------

※試験制度の変更などにより、試験スケジュール、講座日程および学習する内容カリキュラム、科目進行等について、変更を行う場合があります。